

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-518311(P2005-518311A)

【公表日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報 2005-024

【出願番号】特願 2003-536130(P2003-536130)

【国際特許分類】

B 6 5 D 85/67 (2006.01)

B 6 5 D 77/26 (2006.01)

G 1 1 B 23/027 (2006.01)

B 6 5 D 21/02 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 85/67 A

B 6 5 D 77/26 S

G 1 1 B 23/027 B

B 6 5 D 21/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 13 日 (2005.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

磁気テープ・リール (12) の芯要素 (32) を中心位置に固定するための中央心出し突起部 (20) が突出している 矩形を成す底面 (16) を有するトレイ要素 (14) であって、前記心出し突起部 (20) から放射方向に離間した等距離の隅部 (18) において、前記トレイ要素 (14) の矩形を成す底面 (16) から同方向に突出している、該トレイ要素 (14) を段重ねするための段重ね突起部 (22) が配されているトレイ要素 (14) を有して成る、前記芯要素 (32) に取り付けられている磁気テープ・リール (12) を収容するためのパッケージであって、

前記段重ね突起部 (22) が上方に向け前記心出し突起部 (20) と同方向に突出し、前記底面 (16) の外縁部 (28) の周縁方向に延びる壁 (30) が該外縁部 (28) から上方に突出し、前記底面 (16) と前記磁気テープ・リールとの間に介在層要素が配され、前記トレイ要素 (14) に配されている前記磁気テープ・リール (12) の上に第 2 介在層要素が配され、前記磁気テープ・リール (12) および前記介在層要素を収容した前記トレイ要素が溶着によってプラスチック・フィルム (40) 内に密封されることを特徴とするパッケージ。

【請求項 2】

各々が溶着によってプラスチック・フィルム (40) 内に密封されている、前記磁気テープ・リール (12) を収容した多数の前記トレイ要素 (14) が、輸送梱包用エンクロージャー内に配列されることを特徴とする請求項 1 記載のパッケージ。